

令和5年度 第4回上越警察署協議会議事概要

開催日時	令和6年2月27日（火）午後3時30分から午後5時00分まで		
開催場所	上越警察署講堂		
出席者	委員 (定数15人)	青山会長 君波副会長 和栗副会長 佐藤(正)委員 沢田委員 仲山委員 望月委員 高館委員 熊木委員 佐藤(洋)委員 小林委員 池田委員	計12人
	警察	久須美署長 穴沢副署長 五十嵐会計官 青木刑事官 伊藤地域官 武内警務課長 稲越留置管理課長 本多生活安全課長 小林交通課長 内山警備課長	計10人

管内の治安情勢

署長等から、令和5年中の管内の治安情勢について、資料に基づき説明があった。

前回の答申事項に対する業務推進状況

署長から、前回答申した重点推進項目の取組状況について、下記のとおり説明があった。

1 特殊詐欺被害防止広報の推進

- 被害発生状況
前年と比較して、発生件数は4件増加、被害額は1,525万円減少
- 被害防止に向けた対策
街頭活動等における防犯活動として、大型商業施設において民間ボランティアと連携して、幅広い世代に対する広報活動を行った。
また、防犯意識の高揚として、管内のコンビニエンスストアに対して電子マネー収納袋を配布し、購入者に対する声かけを積極的に行うよう指導するとともに、防犯意識の高揚を図った。
- 感謝状の贈呈
未然防止に貢献した金融機関職員やコンビニ店員に対して感謝状を贈呈した。

2 交通事故抑止対策の推進

- 冬の交通事故防止運動期間中、飲食店への訪問指導や企業における交通事故防止講話を行ったほか、高齢者を対象とした広報活動を行った。

諮問

第1 特殊詐欺被害防止広報の推進(継続)

昨年中の当署における被害状況は県下ワースト1で、特に架空料金請求被害が多いため、引き続き各種警察活動を通じた広報による被害防止を図る。

第2 交通事故抑止対策の推進

高齢者が関与する事故が全体の4割を占めるため、特に高齢者対策を中心に交通事故防止対策を図る。

諮問等に対する意見・質疑等(○は署長等の説明)

1 関係機関との連携による特殊詐欺被害防止広報について伺う。

○ 特殊詐欺被害防止に特効薬はないため、今後も市や関係機関と連携を図り、情報発信を行うと共に水際対策を強化したいと考える。

2 特殊詐欺被害者への補償等について伺う。

○ 被疑者が検挙された際に各種の補償制度があると承知している。

3 交通事故の際の消防との連携状況について伺う。

○ 本部で受理した際に怪我人が判明した際は本部から直接救急要請を行っている。

4 震災発生時の警察官による避難誘導方法について伺う。

○ 津波が予想される場合は、パトカーのマイクを活用して住民に対する避難誘導を実施している。

5 携帯電話違反の反則処分について伺う

○ 例えば普通車の場合、反則金1万8000円、違反点数3点が課される。

答申

質疑の後、上越警察署協議会として協議、検討した結果、諮問のとおり推進するよう答申した。

速度等取締り指針の策定

交通事故発生実態に合わせ、速度等取締りを実施する旨の説明を行った。

その他

○ 会議に先立ち、石川県能登半島沖で発生した地震によって亡くなられた方に対して黙祷を捧げた。



会長挨拶



署長挨拶



協議会の様子